

南っ子 上手な学び方

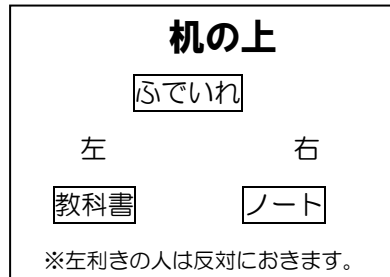
中・高学年用
櫛引南小

授業のかまえ

- 時間になったらすぐ教室にもどり、席につきます。(タイム着席)
- 授業の始めと終わりには、あいさつをします。(目を見て、よい姿勢で)
- 使った道具はもとの場所にかたづけ、よごれたところはきれいにします。
- 次の時間の学習じゅんびをしてから、休み時間に入ります。

学習用具

- 引き出しに保管・・・はさみ・のり・色えんぴつ(クーピー)・クレヨン・30cmものさし
 - 筆入れの中・・・えんぴつ4～5本(1・2年生は2BかB。3年以上はHB。)
消しゴム
赤青えんぴつ(赤青ペン)・名前ペン・定規・学年で決められた物
 - 道具袋・・・三角定規・コンパス・分度器
- ※シャープペンシルは使いません。
※下じきは無地の物を使います。
※筆入れなどの学習用具は、キャラクターのついていない物を使います。



呼ばれたら、はっきの
へんじをしよう。



学び名人になろう!

聞き方

あいてをみながら いいしせいで
うなずきながら えがおで
おわりまできこう

1・2年

- じゅんじよに気をつけて聞く。

3・4年

- 要点を考えながら聞く。
- 自分の考えと比べながら聞く。
- 必要に応じてメモをとる。

5・6年

- 要旨をつかみながら聞く。

話し方

かんがえやおもいを きくひとのほうをみて
くちを おおきく あけて けっしていそがずに
こえの おおきさを かんがえて はなそう

「はい、～です。」

「わたしは～だとおもいます。」

「そのわけは、～だからです。」

「しつもんですが～ですか。」

「〇〇さんと同じで、～です。」

「〇〇さんとちがって、～です。」

「〇〇さんにつけたして言います。」

「つまり、～です。」

「まとめていうと、～です。」

書き方

- ◎下じきをしく。 ◎えんぴつを正しく持つ。
- せすじをのばし、左手を正しくおいて、机と目の間を30cmはなす。
- 月日・題名を書く。(5・6年は自分の考えも書こう。)
- 書き順に気をつけて正しく書く。
- 時間内に書く。
- 工夫して見やすいノート作りをする。
- 自分の考えだけでなく、友達のよい考えも書く。

読み方

- 音読をするときは、せすじをのばして両手で本をもつ。
- 「、」はひとつ、「。」はふたつ休む。
- 口の形に気をつけて、はっきりした声で読む。
- 声の大きさ、速さ、間を考えて読む。
- 聞いている時も心の中でいっしょに読む。